

令和3年度福岡県剣道選手権大会
第69回全日本剣道選手権大会福岡県予選会
実施要項（HP用）

1. 日時 令和3年9月5日(日)
受付時間 午前 8時30分～9時00分
試合開始 午前10時15分
2. 会場 久留米アリーナ（久留米総合スポーツセンター）
〒830-0003 久留米市東櫛原町170-1 Tel 0942-39-7371
3. 大会内容
 - (1) 開会式・日本剣道形・閉会式は行いません。
試合前に、大会諸注意・優勝杯返還（レプリカ贈呈）及び試合上の注意を行い、試合終了後、成績発表ならびに表彰（1位～4位）を行います。
 - (2) 出場資格
 - ①年齢は、満20歳以上とし、段位の制限はしない。（年齢計算は、今大会前日の令和3年11月2日を基準とし、平成14年11月2日以前に生まれた者）
 - ②五段以上は本連盟の登録会員であること。
四段以下は地域の剣道連盟に所属していること。
予選会出場は一ヶ所とする。違反したものは出場を取り消す。
 - (3) 日本剣道選手権大会の出場者は、上位3名とする。
4. 注意事項
 - (1) 防具等の荷物は所定の場所に置くこと。
 - (2) 使用する竹刀は、全剣連の「竹刀の基準」を遵守すること。
大会当日、竹刀の計量・測定を実施いたします。
（場所は1F 通路）
 - (3) 選手は、大会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認証」を受付に提出すること。
 - (4) 選手は、大会当日、「健康記録表」を受付に提出すること。
 - (5) 紅白目印（長さ70cm・幅5cm）を持参すること。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会参加者（選手、大会役員、係員）以外の入場はできません。（無観客試合）
5. 参加料 出場者1名につき1,000円
※当日欠席者の参加料は返金いたしません。
6. 申込方法 所属の地域剣道連盟へ参加料とともに申し込むこと。

7. 申込締切 所属の地域剣道連盟が定めた期日

8. 試合・審判および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。
- (2) 試合はトーナメント方式により、優勝・第二位・第三位・第四位を決定する。
- (3) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行ない、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り、勝敗の決するまで継続する。
上位3名が令和3年11月3日（水・祝）に東京都で開催される「第69回全日本剣道選手権大会」に出場する。
(4位は補欠とする)

9. 剣道用具の取り扱いについて

- (1) 選手は、大会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認証」を提出すること。
- (2) 竹刀については次の事項を遵守すること。また大会当日に、軽量・検査を必ず受けること。
 - 竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ（先革先端対辺直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値）は、表1、表2および図のとおりとする。
 - ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。
- (3) 小手については次の事項を遵守すること。
 - 小手は、こぶしと前腕（肘から手首の最長部）の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手指部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
 - 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- (4) 面については次の事項を遵守すること。
 - 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (5) 小手については次の事項を遵守すること。
 - 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。
(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

長さ (全長)	重さ	太さ	
		先端部最小直径	ちくとう最小直径
120センチメートル以下	510グラム以上	26ミリメートル以上	21ミリメートル以上

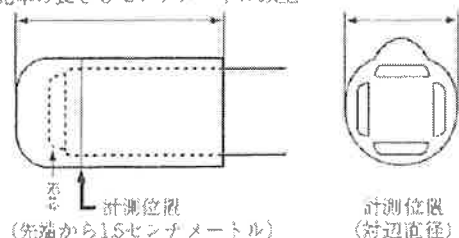
表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ

	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	280~300グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

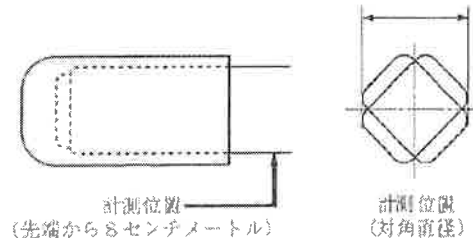
図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



10. 優勝者には優勝杯と賞状を授与し、2位・3位については賞状及びトロフィーを授与する。なお、4位については賞状（敢闘賞）を授与する。

11. 安全対策

出場選手は、各自十分健康管理に留意し本大会に参加すること。

出場選手に周知徹底をお願いします。

主催者において、大会実施中傷害発生の場合は、看護師により応急措置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。

この場合の治療費は自己負担とする。

なお、主催者は、大会中の選手の事故に対し、傷害保険に加入する。

選手は、健康保険証を持参のこと。

※別紙の大会実施要項（新型コロナウイルス感染症対策）を参照のこと。

注：職業欄には、企業名、大学名、警察官、刑務官等と明記のこと。

第69回全日本剣道選手権大会福岡県予選会

大会実施要領

(新型コロナウイルス感染症対策)

大会要項（参加者募集）における確認事項

○次のことが当てはまる人は大会に参加できない。

※大会当日、会場入口前で検温を実施

◎体温が37.5度以上ある人や37度以上あり且つ風邪症状がある人

◎同居家族や身近な知人に感染者または感染の疑いのある方がいる人

◎過去14日以内に渡航歴のある人や感染流行地域を訪れた人

◎基礎疾患のある人

※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人

※基礎疾患のある人が理由あって参加する場合は、主治医の承認を得るものとする。

○大会に申し込む人は、自己の責任において当日の大会に参加するものとする。

○過去に新型コロナウイルス感染歴のある方は、大会参加について医師と相談して決める。

○大会運営関係者（選手・監督・大会役員・係員等）以外の方の入場はできません。

大会当日の注意事項

- 「大会参加者確認票」および「健康記録表」を必ず持参すること。忘れると会場に入れない。
- 着替えは原則自宅で済ませておく。
やむなく大会会場内の更衣室を利用する場合は密を避け、交代で使用する。
- 体温測定と次の体調確認を行う。
咽頭痛、咳、臭覚異常、味覚異常、強い倦怠感、その他の症状（頭痛・腹痛・下痢・嘔吐等）
- 大会に参加する時は、マスクを必ず着用すること。（外出時から着用）
マスクは複数枚持参することが望ましい。
- 靴を入れる袋を持参して、各自で靴の管理をすること。
会場以外を裸足で移動しない。主催者が配布するビニール袋を靴入れとして使用する場合は、使用後ビニール袋を必ず家まで持ち帰ること。会場内で捨てない。
- 参加する全ての方は、係員の誘導に従って行動すること。
- 施設内に入場する人は、全員必ずマスクを着用し、私語を慎む。
- 入場する時も含めて、常にフィジカルディスタンス（他の人との距離）を約 2m（最低でも 1m）確保する。試合会場へ入場する選手の人数制限等を検討する。
- 会場内に入る時は、必ず足の消毒を行うこと。消毒液や除菌ティッシュなどは各自持参のものでも可。（主催者側も準備する。）
- 試合前および試合後に、洗顔・手洗い・うがい・手指のアルコール消毒を行う。
- 自分の剣道具および竹刀・面手拭などを他の人に使わせない。
また他の人の物を使わない。（忘れ物をしないこと。）
- 食事の空箱・ペットボトル・持参した物など、ごみは必ず持ち帰ること。
会場内で捨てないこと。
- 役員・審判員・係員はマスクとともに全員フェイスシールドも着用する。
（審判員は審判時のみ外す）

【選手、監督】

- 面マスク、シールド着用（マスクは口と鼻を確実に覆うものとし、持病等により鼻を出す必要がある場合は申請をすること。シールドは口元を覆うものとし、形状の指定はしない）
- 目印は、必ず自分の物を使用。会場内外では常にマスクを着用する。
- 監督は、声を出して指示を出さない。選手は、声援をしない。応援は拍手のみとする。
- お互いに鏝ぜり合いにならないように試合を行う。もし鏝ぜり合いになったらすぐに分かれるか、引き技を出し、掛け声は出さないこと。（引き技の発声は可）
- 試合が終了したら、すみやかに会場（施設）から退出する。
- 大会中に発熱したり体調が悪くなった時は棄権し、すぐに帰宅して経過観察する。
- 開会式では、選手整列を実施しない。
- 第1試合に出場する選手は、開始時刻の10分前には各試合場にて待機する。
- 延長は3分で区切り、3回毎に5分間の休憩を取る。

【審判員】

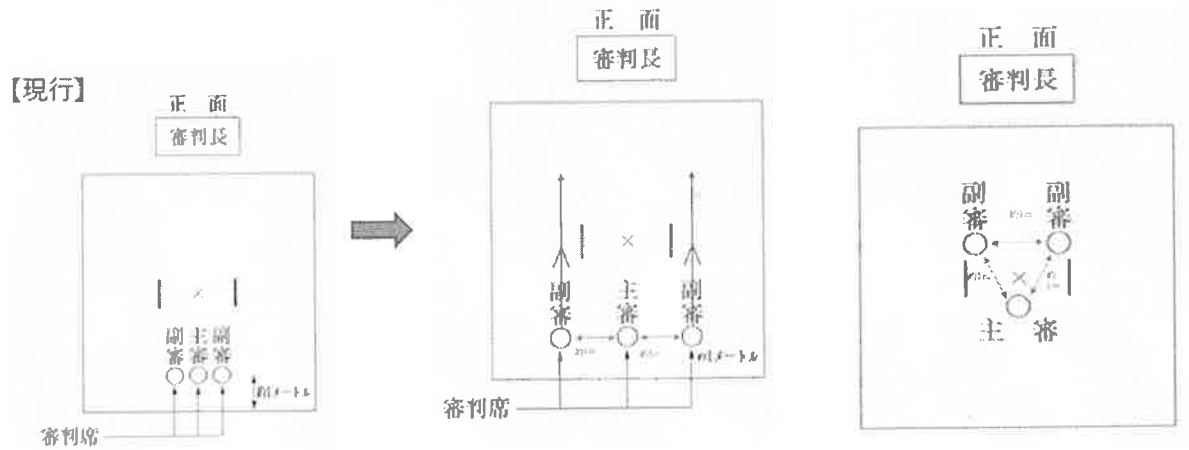
- 自分用の審判旗を持参する。大会本部の審判旗を使う場合は、使用前および使用后に必ずアルコール消毒をすること。
- 試合者が鏝ぜり合いを解消しない場合、すぐに「分かれ」をかける。
- 試合終了後に当該試合の反省を行う場合は、1m以上の間隔を空ける。
- 審判員の試合場への入退場は、1m以上の間隔を空けて行い、副審は試合開始線の外側を通り定位置まで進む。
- 合議は、1m以上の間隔を開けて行う。

※来場する全ての方で、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、福岡県剣道連盟事務局に至急連絡をし、濃厚接触者の有無について報告をしてください。

【別添 1】

剣道試合・審判運営要領 p 14 審判員の移動・交替要領

第 1 図 審判員の入場および整列



【竹刀検査】

- 検査を受ける人はマスクを着用し、検査員はマスクと使い捨て手袋を着用すること。
- アクリル板等で検査員と検査を受ける人を仕切ること。
- 検査⇒退場のルートを一方通行にすること。
- 待機時に間隔をとること。(床にテープを貼るなど位置を決めておく。)

大会参加者確認票

大学または職場名

氏名

年齢

大会当日の体温

緊急時連絡先電話番号（本人以外の家族等）

※大会当日に必ず会場にご持参ください

健康記録表

所属：

氏 名：

緊急連絡先：

	体 温		体 調	朝 食 何処で 誰 と	昼 食 何処で 誰 と	夕 食 何処で 誰 と
	朝	晩				
8/23 (月)						
8/24 (火)						
8/25 (水)						
8/26 (木)						
8/27 (金)						
8/28 (土)						
8/29 (日)						
8/30 (月)						
8/31 (火)						
9/1 (水)						
9/2 (木)						
9/3 (金)						
9/4 (土)						
9/5 (日)						

※体調欄には、発熱（37.5℃以上）・咽頭痛・咳・嗅覚異常・味覚異常・強い倦怠感・その他の症状（頭痛・腹痛・下痢・嘔吐等）があれば記入する。

審判主任	検査所責任者

剣道用具確認証

大会会長 殿

本大会の出場にあたり、使用する用具について、「剣道試合・審判規則」および「大会要項」に即し、下記項目の確認いたしました。

日 付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

_____ 剣道連盟

選手氏名： _____ 印

記

1) 竹刀関連：検査本数：合計 _____ 本（大会検査所提出本数）

竹刀の長さ（全長）が適正

竹刀の重さが適正

竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正

先から8センチメートル部分のちくとうの太さ（対角）が適正

先革の長さが適正

中結の位置（＝全長の約1/4）が適正

各ピース（竹）の間の隙間がない

破損・ささくれはない

不当な付属品を使用していない

安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない

2) 小手関連

こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部）の1/2以上を保護している

小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ぶとん部最長部と最短部の差が2.5センチメートル以内である

小手頭部・小手ぶとん部の十分な衝撃緩衝能力がある

3) 面関連

肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている

面ぶとんの十分な衝撃緩衝能力がある

4) 剣道着関連

袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

以上